電気オイルヒーター

ユニデールRIO

RMG12/TI

取扱説明書（保証書付）

2003年10月　暫定・校正版

目次

安全上のご注意	P2
ご使用の前に	P4
特長	P5
仕様	P5
各部名称、寸法	P6
操作方法	P7
組立て方法	P10
メンテナンス	P11
保証書	P12

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

- 安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意

◆ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
◆ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	取扱を誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	取扱を誤った場合、使用者が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

◆ お守り頂く内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

	この図記号は、気をつけていただく「注意喚起」です。
	この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	この図記号は、必ず実行して頂く「強制」内容です。

◆ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

	● 転倒の恐れあり 本体に乗ったり傾けたりしないでください。
	● やけどの恐れあり 乳幼児や身体の不自由な方には、付き添いなしでは使用しないでください。
	● 改造しない　修理技術者以外の人は分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社にご相談ください。
	● 電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。
	● 交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因となります。
	● 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたりしない。 重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

● 定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火することがあります。

● 差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

● 濡れた手で差込みプラグを抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。

● 吸排気口やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない

感電や異常動作してけがをすることがあります。

⚠ 注意

● 差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。

● 犬や猫等のペットの暖房用には使用しない

ペットが本体やコードを傷め、火災の原因となることがあります。

● 乾燥など他の用途に使用しない

過熱して発火することがあります。

● 脚をはずしたり、倒したりして使用しない

過熱や火災の原因になります。

● スプレー缶等を本体の近くに置かない

爆発や火災の原因となります。

● 使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

● 使用中や使用後しばらくは、放熱面など熱い部分には触れない

やけどをすることがあります。

● 操作部に水やお茶等をこぼさない

万一こぼれたときは、過熱のおそれがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。

● 本体の掃除は、必ず差込みプラグを抜き本体が冷めてから行う

感電やけがをすることがあります。

● 浴室など湿気の多い場所で使用しない

感電および故障の原因となります。

ご使用の前に

● 電源

この暖房器は交流100Vです。ご使用の前に電源電圧をご確認ください。
誤って200Vの電源で使用しますと、ヒーターエレメントが断線して使用不能になります。

● 電気容量

ご家庭で同時に使用する電気量の合計が契約量を超えると、使用できない場合があります。電力会社との契約量を超える場合には契約変更の手続、電気配線工事が必要になる場合があります。その際は最寄りの電力会社か、ユニデール取扱店にご相談ください。

● 初めての使用

お買い上げ後初めて使用される時は、多少塗料のにおいがする場合がありますが、4～5日使用されれば、においはなくなります。

● 温度と暖まりについて

電源を入れてからすぐに本体が暖まり始め、最高温度設定において約30分前後で本体温度が一定になります。お部屋の広さや地域によっては異なりますが、本体温度の上昇とともに室温は設定温度に近づきます。

特長

ユニデールRIOは、輻射熱および自然対流熱によって部屋全体を暖める暖房器に最適であるとともに、寒冷地においては補助暖房としてもご使用できます。

・風や音もなく、空気もきれいで安心
・転倒時電源遮断スイッチ、過昇温度防止装置付
・サーモスタットによる室温調節機能付
・タイマー機能付
・ヒーター出力切替スイッチ付
・移動が簡単
・内部に充填されたオイルは補充や交換の必要がなく、有害添加物も一切含まれておりません。

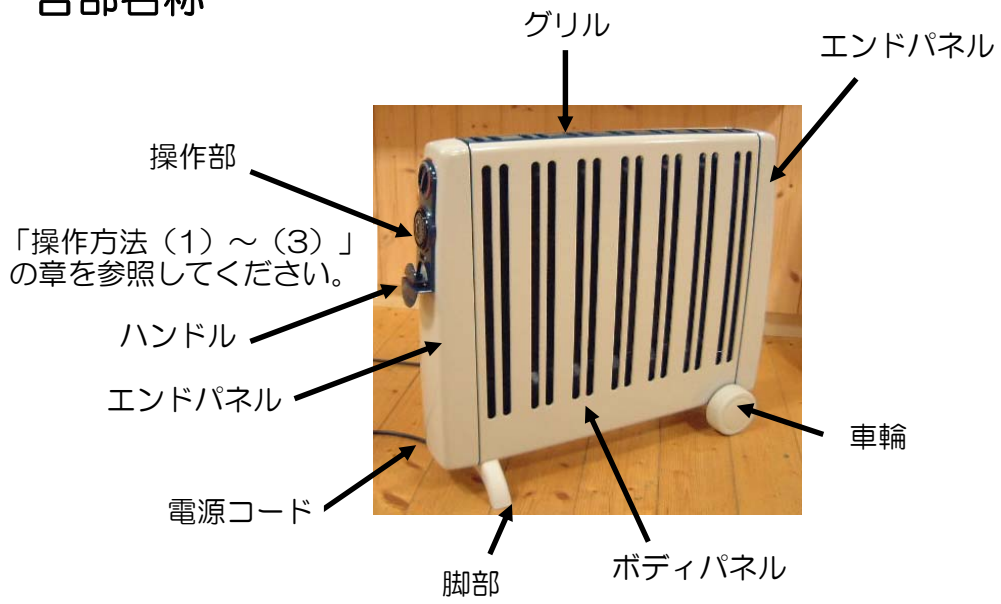
仕様

型名（モデル）		RMG12/TI	
定格電圧（V）		AC100 V（50/60Hz）	
定格消費電力（W）		1200 W（600 W）　*注1	
定格電流（A）		12 A	
寸法（mm）		690（W）×610（H）×215（D） mm	
重量（kg）		15.2 kg	
色	ボディ	ミスティグレー	
	グリル	アトランティックブルー	
	脚・車輪	ミスティグレー	
	操作部	アトランティックブルー	
仕上げ		粉体塗装	
電源コード		1.8m	
室温制御		サーモスタット	
熱媒体		難燃性オイル	
安全装置		過昇温度防止装置（230℃、復帰なし）	
		転倒時電源遮断スイッチ（本体15度以上の傾きで作動）	
適用面積　*注2	木造住宅	断熱材なし	約3畳（4.9㎡）まで
		断熱材50mm	約6畳（8.6㎡）まで
	コンクリート住宅	断熱材なし	約4.5畳（6.9㎡）まで
		断熱材50mm	約8畳（12.9㎡）まで

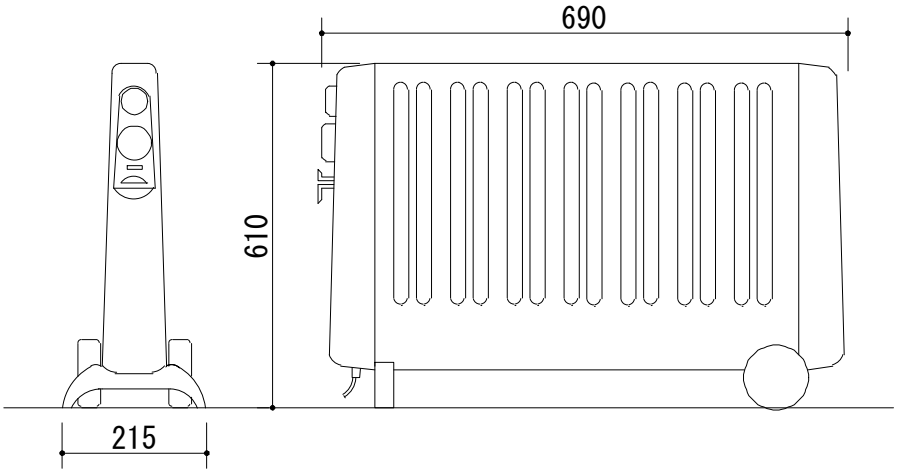
*注1；　最大ヒーター容量1200W、切替え時600W
*注2；　適用面積は、日本電気工業会の統一基準による目安値です。

各部名称、寸法

● 各部名称



● 寸法



操作方法（1）

● 電源プラグの差込み方と抜き方

電源プラグを抜き差しする時は、電源スイッチをOFFにし、必ずプラグを持ってコンセントから抜き差ししてください。

定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火することがあります。

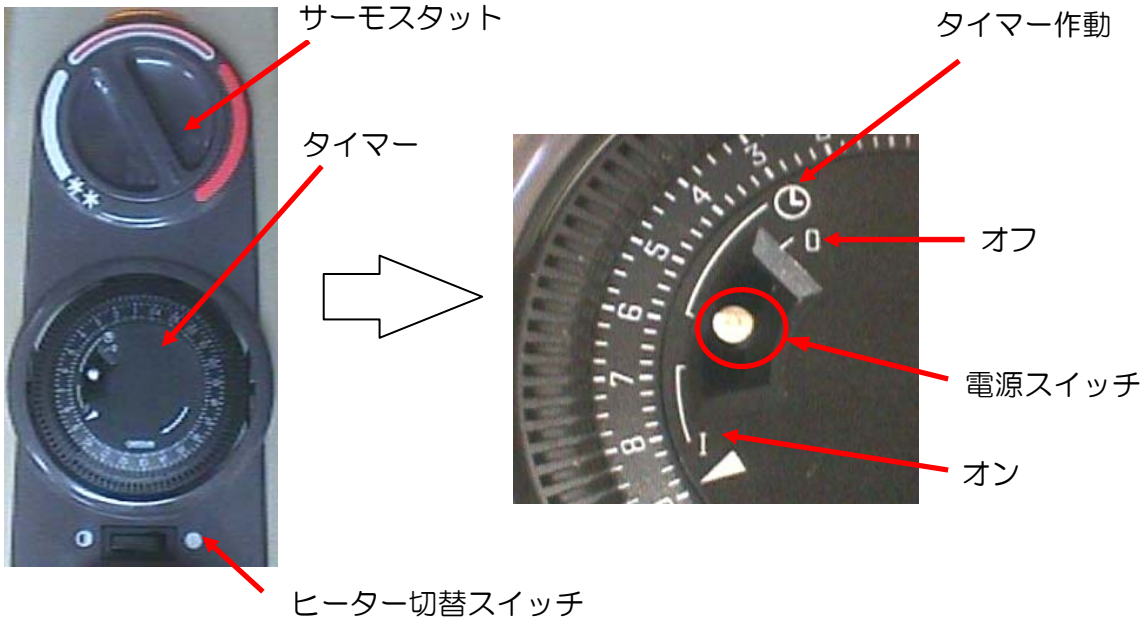
差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。

電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因となります。

● 電源スイッチについて



電源スイッチはタイマーダイアルにあります。以下の位置によってオン、オフ、タイマー作動にします。

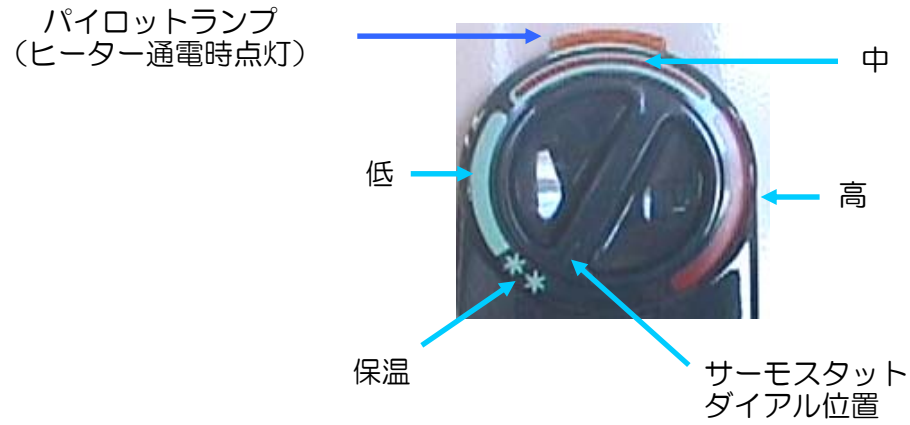
O ← ヒーターの電源を切ります。
🕓 ← タイマーが作動します。
I ← ヒーターに通電します。

操作方法（2）

● ヒーター切替スイッチについて

ヒーター容量を、以下の位置によって切換えます。
◑ ← 弱（600W）
● ← 強（1200W）

● 室温調節について



サーモスタット（自動温度調節器）のダイアル位置により、室内の温度を自動的に調節いたします。室内の温度の目安は、以下のようになります。

＊＊ → 5℃
▬▬ → 25℃

操作方法（3）

● タイマーについて

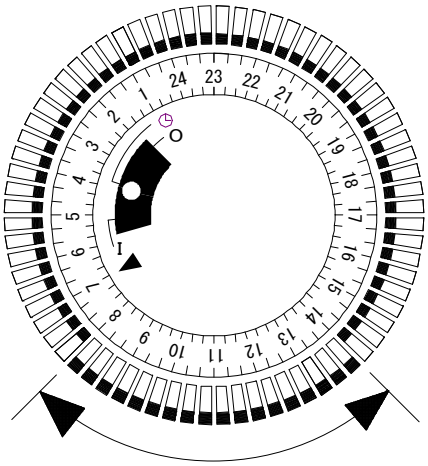
タイマーを利用して夜間に使用すると、夜間の電気が割安な電気料金メニューをご利用のご家庭では、電気代を抑えられるとともに、外出先から帰宅した時にすでに暖まったお部屋の状態にすることができるなどのメリットがあります。

1．時計機能の設定

外側のダイアルを時計回りに回します。次に現在の時刻を矢印に合わせます。ダイアルの時刻は24時間表示です（図の例は午前9：00の場合です）。

タイマーをご使用の場合
必ずコンセントを入れてからタイマーを合わせてください。午前7時はダイアル表示では「7」となり、午後7時では「19」となります。

⚠ 注意
ダイアルを逆方向に回さないでください。故障の原因になります。



2．タイマー（入・切）の設定方法

ダイアルの「ピンスイッチ」を希望する時刻に合わせてセットします。

【設定例】
左図のように、現在時刻が午前7時で、電気を午前8時に「入」、午後2時に「切」にしたい場合、ダイアルの「ピンスイッチ」を「8」から「14」まで外側に押し出します。

このように、暖房をオンしたい時間帯のピンスイッチを外側に向かって押し出してください。

1個のピンスイッチは15分間となります。

設定が終了したら、カバーを掛けてください。

組立て方法

● 車輪と脚部の組立て方法

写真1

梱包から、車輪、車軸、脚部を取り出します（写真１）。

車輪と車軸を、写真2のように組み立てます。
（車軸に車輪を手で止まる位置まで押し込みます）

写真2

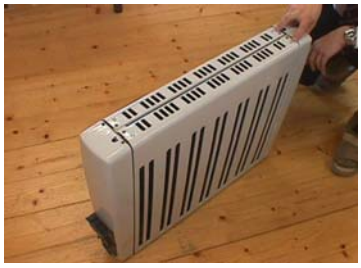


写真3

ヒーター本体を逆さにして（写真３）、組み立てた車輪を後方にビス止めします（写真４）。

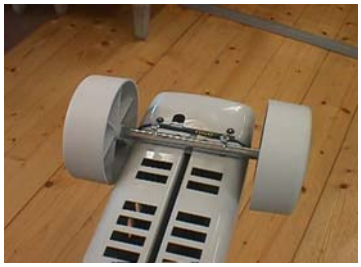


写真4

写真5

同様に、脚部もビス止めします（写真５）。

車輪、脚部をしっかり締めた後、逆さにした本体を元に戻します（写真６）。

写真6

メンテナンス

● 故障かなと思ったら

修理をご依頼される前に、表の内容を確かめてください。これらの処置を行っても改善されない場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

症状	調べる所	対処方法
暖房器またはお部屋が暖まらない。	電源プラグが正しく差し込まれていますか。	電源プラグを正しく差し込んでください。
	100V電源ブレーカーが「切」になっていませんか。	100V電源ブレーカーを「入」に設定してください。
	現在時刻設定、タイマーの時間設定が正しく設定されていますか。	現在時刻設定、タイマーの時間設定を正しく設定してください。
	サーモスタットの設定を低い設定にしてありませんか。	サーモスタットの設定を大きくしてください。
においや煙が出る。	初めてお使いになる場合、長期間使用していなかった場合は、ほこりや湿気でにおいが出る場合があります。	

● こんなとき

以下のような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いて、必ず取扱店に点検・修理をご相談ください。

- 使用中に電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- オイルが漏れている。

● ご承知おきください

- サーモスタットの動作を効果的に作動させるには、サーモスタットの位置がすき間風のあたる場所や空気の流れの悪い場所に設置しないよう、充分注意してください。
- 転倒した場合には、電源プラグをコンセントから抜いて、本体を正しく設置してください。（転倒したときは転倒時電源遮断スイッチが働きます）
- 本体に衣類等を直接掛けないでください。誤作動または故障の原因になります。
- 過昇温度防止装置は、サーモスタットの故障等により誤って異常過熱した場合に作動するものであり、普通のご使用の時には作動いたしません。
- プラグ・コードは老化します。7年くらいたったら取り替えを取扱店に依頼してください。

● お手入れ

- 本体表面のほこりや汚れは、乾いた柔らかい布で拭取ってください。ベンジンやシンナー等は、表面の塗装を傷めますので、使用しないでください。
- 暖房器底部・周辺の隙間にはほこりがたまりやすくなっていますので、時々掃除機でほこりやゴミを取り除いてください。
（暖房運転中はおやめください。本体が十分冷えてから行って下さい）
- 本体内部の清掃は感電ややけどの危険がありますので、必ず設置工事店または専門業者に依頼してください。

操作方法（1）

● 電源プラグの差込み方と抜き方

電源プラグを抜き差しする時は、電源スイッチをOFFにし、必ずプラグを持ってコンセントから抜き差ししてください。

定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火することがあります。

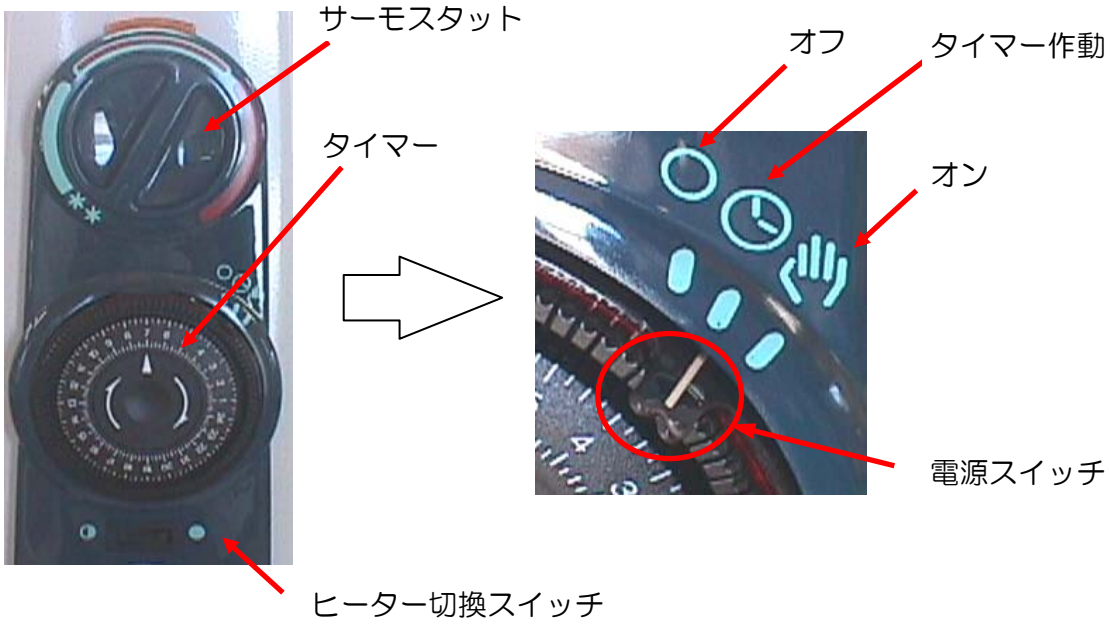
差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。

電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因となります。

● 電源スイッチについて



電源スイッチはタイマー右上部分にあります。以下の位置によってオン、オフ、タイマー作動にします。

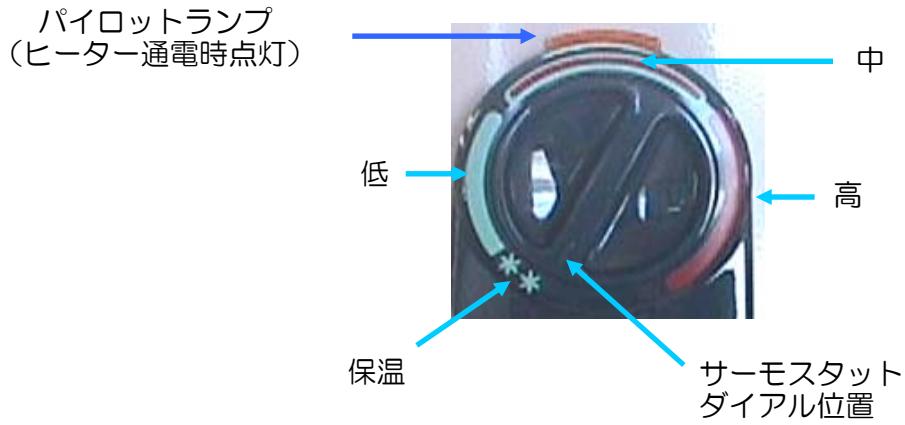
O ← ヒーターの電源を切ります。
← タイマーが作動します。
← ヒーターに通電します。

操作方法（2）

● ヒーター切換スイッチについて

ヒーター容量を、以下の位置によって切換えます。
◑ ← 600W
● ← 1200W

● 室温調節について



サーモスタット（自動温度調節器）のダイアル位置により、室内の温度を自動的に調節いたします。室内の温度の目安は、以下のようになります。

＊＊ → 5℃
▬▬ → 25℃

操作方法（3）

● タイマーについて

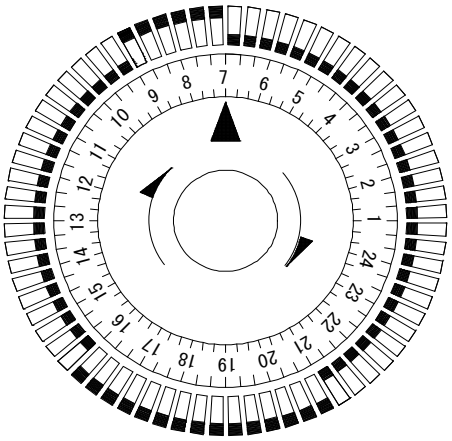
タイマーを利用して夜間に使用すると、夜間の電気が割安な電気料金メニューをご利用のご家庭では、電気代を抑えられるとともに、外出先から帰宅した時にすでに暖まったお部屋の状態にすることができるメリットなどがあります。

1．時計機能の設定

外側のダイアルを時計回りに回します。次に現在の時刻を矢印に合わせます。ダイアルの時刻は24時間表示です（図の例は午前7：00の場合です）。

タイマーをご使用の場合
必ずコンセントを入れてからタイマーを合わせてください。午前7時はダイアル表示では「7」となり、午後7時では「19」となります。

⚠ 注意
ダイアルを逆方向に回さないでください。故障の原因になります。



2．タイマー（入・切）の設定方法

ダイアルの「ピンスイッチ」を希望する時刻に合わせてセットします。

【設定例】
左図のように、現在時刻が午前7時で、電気を午前7時に「入」、午前9時に「切」にしたい場合、ダイアルの「ピンスイッチ」を「7」から「9」まで外側に押し出します。

また、午後4時から午後9時の時間帯を暖房オンにしたい場合、「ピンスイッチ」を「16」から「21」まで外側に押し出します。

このように、暖房をオンしたい時間帯のピンスイッチを外側に向かって押し出してください。
1個のピンスイッチは15分間となります。
設定が終了したら、カバーを掛けてください。